平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月12日

上場会社名	株式会社リプロセル		上場取引所　東
コード番号	4978	ＵＲＬ　https://www.reprocell.com	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）横山　周史	
問合せ先責任者	（役職名）取締役経営管理部長	（氏名）片山　浩美	ＴＥＬ　045-475-3887
四半期報告書提出予定日	平成25年８月12日	配当支払開始予定日	－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	85	－	△17	－	△34	－	△34	－
25年３月期第１四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　△34百万円（－%）　25年３月期第１四半期　－百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	△4.51	－
25年３月期第１四半期	－	－

※　平成26年３月期第１四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年３月期第１四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	2,326	2,128	91.5	250.62
25年３月期	－	－	－	－

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　2,128百万円　25年３月期　－百万円

※　平成26年３月期第１四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年３月期の数値は記載しておりません。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		0.00	－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	194	－	△65	－	△70	－	△70	－	△8.87
通期	477	－	△88	－	△59	－	△60	－	△7.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　有
新規　1社　（社名）ReproCELL USA Inc.、除外　－社　（社名）－
（注）詳細は、添付資料Ｐ３「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	8,493,250株	25年３月期	7,659,250株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	－株	25年３月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	7,700,854株	25年３月期１Ｑ	－株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ２「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第１四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

（１）経営成績に関する説明

平成24年12月に京都大学の山中伸弥教授がノーベル医学生理学賞を受賞されたことで、国内外でiPS細胞の研究開発及び実用化が加速しております。一方、当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和策などによる経済政策への期待から円安・株高に推移し、概ね回復傾向にあります。また、iPS細胞及び再生医療は政府の新成長戦略の一つとして掲げられており、iPS細胞に関連した基礎及び臨床の研究者が増加しております。

このような状況の下、当社グループにおいては、iPS細胞事業の主力製品である研究試薬製品及び細胞製品について、研究開発活動を強化するとともに、子会社であるReproCELL USA Inc.及び欧州・アジアでの販売代理店を中心として、グローバルな営業活動を行っております。

一方、臨床検査事業では、主力検査である抗HLA抗体検査の検査数を順調に伸ばすとともに、新たな臨床検査項目の導入に向けた取り組みを行っております。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は85,082千円、営業損失は17,101千円、経常損失は34,494千円、四半期純損失は34,695千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① iPS細胞事業

研究試薬製品は、主力製品であるPrimate ES cell mediumを中心として、大学及び公的研究機関を中心に継続的に販売しており、さらに新規顧客も増加傾向にあり、売上は堅調に推移しております。一方、細胞製品については、心筋、神経、肝臓、アルツハイマー病神経細胞を販売しておりますが、製薬企業を中心に顧客層が広がっております。

この結果、売上高は72,959千円、セグメント利益は21,220千円となりました。

② 臨床検査事業

肝臓移植や造血幹細胞移植の分野への適用の広がりを見せている抗HLA抗体検査（スクリーニング及びシングル抗原同定検査）を主力として、日本全国の100施設以上の病院から検査を受注しております。また、造血幹細胞移植における保険適用も受注を後押しする材料となっており、売上は堅調に推移しております。

この結果、売上高は12,123千円、セグメント利益は4,730千円となりました。

なお、管理部門にかかる費用など各事業セグメントに配分していない全社費用が60,445千円あります。

（２）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は2,298,090千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が2,167,405千円、売掛金が55,282千円であります。固定資産は28,898千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が17,639千円、無形固定資産が5,258千円であります。

（負債の部）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は110,459千円となりました。主な内訳は、買掛金が51,219千円、未払金が38,413千円であります。固定負債は87,980千円となりました。主な内訳は、長期借入金が80,000千円であります。

（純資産の部）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は2,128,548千円となりました。主な内訳は、資本金が1,082,323千円、資本剰余金が1,965,767千円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期連結累計期間において、ReproCELL USA Inc.を連結範囲に含めているため、当第１四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。

平成26年３月期における第２四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年６月26日に発表しました業績予想に変更はありません。

現在、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の研究開発プロジェクト及び関東経済産業局のグローバル技術連携支援事業（グローバル）について採択を受けて研究開発を行っております。なお、NEDOにつきましては、第１四半期連結累計期間までに発生した費用に対応する補助金収入を年度末において計上する見込みであり、一方、グローバルにつきましては、翌連結会計年度に補助金収入を計上する見込みであります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第１四半期連結累計期間より、非連結子会社でありましたReproCELL USA Inc.は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,167,405
売掛金	55,282
商品及び製品	32,947
仕掛品	22,881
原材料及び貯蔵品	2,399
その他	17,172
流動資産合計	2,298,090
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	10,526
機械及び装置（純額）	952
工具、器具及び備品（純額）	6,160
有形固定資産合計	17,639
無形固定資産	
特許権	4,435
その他	822
無形固定資産合計	5,258
投資その他の資産	
敷金及び保証金	6,000
投資その他の資産合計	6,000
固定資産合計	28,898
資産合計	2,326,988
負債の部	
流動負債	
買掛金	51,219
未払金	38,413
未払法人税等	1,737
賞与引当金	2,540
その他	16,548
流動負債合計	110,459
固定負債	
長期借入金	80,000
資産除去債務	6,606
その他	1,374
固定負債合計	87,980
負債合計	198,440

(単位：千円)

	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,082,323
資本剰余金	1,965,767
利益剰余金	△920,336
株主資本合計	2,127,754
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	794
その他の包括利益累計額合計	794
純資産合計	2,128,548
負債純資産合計	2,326,988

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	
製品売上高	70,457
役務収益	14,624
売上高合計	85,082
売上原価	
製品売上原価	31,707
役務原価	5,725
支払ロイヤリティ	526
売上原価合計	37,959
売上総利益	47,122
販売費及び一般管理費	
研究開発費	17,755
その他の販売費及び一般管理費	46,469
販売費及び一般管理費合計	64,224
営業損失（△）	△17,101
営業外収益	
補助金収入	11,276
その他	1,018
営業外収益合計	12,295
営業外費用	
支払利息	80
株式公開費用	20,440
株式交付費	9,145
その他	21
営業外費用合計	29,688
経常損失（△）	△34,494
税金等調整前四半期純損失（△）	△34,494
法人税、住民税及び事業税	263
法人税等調整額	△62
法人税等合計	201
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△34,695
四半期純損失（△）	△34,695

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△34,695
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	794
その他の包括利益合計	794
四半期包括利益	△33,901
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,901
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年６月25日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行による払込みを受けました。また、当第１四半期連結累計期間において新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第１四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ957,324千円増加し、当第１四半期連結会計期間末において資本金が1,082,323千円、資本剰余金が1,965,767千円となっております。

（セグメント情報等）

当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益は又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	iPS細胞事業	臨床検査事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	72,959	12,123	85,082	－	85,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	72,959	12,123	85,082	－	85,082
セグメント利益	21,220	4,730	25,950	△60,445	△34,494

（注）１　セグメント利益の調整額△60,445千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

（重要な後発事象）

（第三者割当増資）

当社は、平成25年５月24日及び平成25年６月10日開催の取締役会決議において、ＳＭＢＣ日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成25年７月24日に払込みが完了いたしました。

(1) 発行株式の種類及び数　当社普通株式　194,500株
(2) 割当価格　１株につき2,944円
(3) 資本組入額　１株につき1,472円
(4) 払込金額の総額　572,608千円
(5) 資本組入額の総額　286,304千円
(6) 払込期日　平成25年７月24日
(7) 資金使途　iPS細胞事業の事業拡大を図るための設備投資資金及び研究開発費、米国・欧州・アジアにおける拠点の開設、拡充等の運転資金に充当する予定であります。

（株式分割）

当社は、平成25年７月29日開催の取締役会において、株式分割を行うことについて決議いたしました。

１．株式分割の目的

当社株式の１株当たりの投資金額を引下げて株式の流動性を図るとともに、より投資しやすい環境を整えることを目的としております。

２．株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年８月31日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式１株につき、５株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式総数 8,493,250株
② 今回の分割により増加する株式数 33,973,000株
③ 株式分割後の発行済株式総数 42,466,250株
④ 株式の分割後の発行可能株式総数 100,000,000株

上記の発行済株式総数は、新株予約権の行使により、株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

(3) 分割の日程

①基準日公告日 平成25年８月15日
②基準日 平成25年８月31日
③効力発生日 平成25年９月１日

(4) １株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が、当事業年度の期首に行われたと仮定した場合の１株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
１株当たり四半期純損失金額	0.90円

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの１株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(5) 新株予約権の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の１株当たりの行使価額を平成25年９月１日以降、以下のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第２回新株予約権	120円	24円
第３回新株予約権	250円	50円
第４回新株予約権	250円	50円
第５回新株予約権	210円	42円
第６回新株予約権	210円	42円
第７回新株予約権	210円	42円
第８回新株予約権	210円	42円